若手社会人のためのライフデザイン支援トータルプログラム（パーソルテンプスタッフ株式会社）

- 若手社会人のライフデザイン支援を目的に、「キャリア」「プレコンセプションケア」「マネープラン」をテーマとした研修プログラムを実施した。ライフデザインに対する理解および明確化、ならびに価値認識に有意な効果が確認された。

実施目的

- 若手社会人が将来の家庭と仕事の両立を見据え、「キャリア」「プレコンセプションケア」「マネープラン」の知識を身につけることにより、将来に対する漠然とした不安を軽減し、個人の意思決定力を高める。

実施内容・スケジュール

- 協力企業と連携し、「キャリア」「プレコンセプションケア」「マネープラン」をテーマにした約3時間の研修プログラムを実施した。ライフデザインに必要な知識を習得した上で自身のライフプランを作成することで、個人の意思決定力を高める。

	実施日	参加人数
中日本高速道路株式会社 名古屋支社	1/14（水）	6名 （男性 2名　女性 4名）
株式会社国際協力銀行	1/15（木）	6名 （男性 2名　女性 4名）





実施体制・実証フィールド

- 実証事務局：パーソルテンプスタッフ(株)、(株)三菱総合研究所
- 実証協力先：(株)国際協力銀行、中日本高速道路(株) 名古屋支社

効果検証結果

- ライフデザインに対する理解および明確化、将来に対する不安の軽減、ライフデザインの重要性・価値認識に有意な効果があった。また、将来に向けての行動意欲の向上について効果がある可能性が示唆された。

手遅れになる前に必要な情報を得てライフプランに活かすことができた点が、本プログラムの目的に合致しており有意義だった。

研修がなければ自分で探しに行かなければ得られないような情報をご教示いただき、大変参考になりました。

ライフデザイン支援の普及・拡大に向けた示唆

- 今回の実証では、理想のライフプラン実現に必要な要素を「キャリア」「プレコンセプションケア」「マネープラン」として再定義することで、若い世代の将来不安が軽減され、行動変容の契機となることが示唆された。
- 一体的に学び考える機会を企業・自治体が継続的に提供することで、ライフデザイン支援の普及・拡大につながる可能性が示唆された。